

美術科学習指導案

指導者 前田 由紀恵

日 時 平成 25 年 11 月 30 日 (土) 第 2 校時 (11:05～11:55)

年 組 中学校第 2 学年 1 組 計 40 名 (男子 18 名, 女子 22 名)

場 所 中学校美術教室

題 材 鑑賞～絵画分析～

題材について

鑑賞の授業では、見ている作品は同じでも感じ方はさまざまで、それらをお互いに伝えあい、交流できるような活動を取り入れている。作品と向き合うことを通して、自分が感じたことを表現し、他の人の考えに触れて共通点や違いを知ることができるかと考える。中学校学習指導要領の鑑賞において、2・3年生の目標は、造形的な良さや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫、目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り見方を深め、作品などに対する自分の価値意識をもって批評し合うなどして、美意識を高め幅広く味わうこと、と示されている。

そこで本題材では、マルク・シャガールという画家を取り上げる。シャガールは祖国ロシアを愛し、そこで出会った女性を愛し、憧れのパリでいろいろな画家と出会い、影響を受けながら、感じたことを幻想的に表現した画家である。ユダヤ人であることや、二つの世界大戦の影響をうけながらも、何かを愛し、自分の思いを表現し続けた。このような画家の人生の流れを知り、いろいろな時期の作品について、どの時期にどんな思いで描かれたものかを想像し、分析的に絵を鑑賞することを試みる。作者の人生や作品を知り、それをもとに感じたことを言葉で表現することができ、それについて意見や質問をするような、批評し合う活動を取り入れることで、より深く作品を見つめることに繋がるのではないかと考える。

本学級の生徒は明るく素直で、興味関心が高まると集中して取り組むことができる。2年生では3回の鑑賞を通して、印象派の特徴を見つけたり、描かれているものについて自由に想像したりするなどして、自分が感じたことを言葉で表現する活動をおこなってきた。しかし、自分が感じたことを表現することが苦手な生徒も多い。したがって、いろいろな知識をもとに絵画を分析することにより、より具体的に自分の考えを深めていき、幅広く表現する力を身につけさせたいと考える。

指導にあたっては、導入において咄嗟にでた印象や思いを大切にするため、挙手ではなく口々にでた意見を取り上げ、自由に感じることの良さを味わうことができるようにしたい。展開では、いろいろな時期のシャガールの絵を何点か取り上げ、班のなかで話し合う活動を通していろいろな感じ方に触れ、それぞれの視点で分析し、それぞれの作品が描かれた時期、そのときのシャガールの気持ちをシャガールの人生の流れなどから分析し、発表できるようにしたい。違う意見の班が次々に発表できるよう、指示をだしていこうと考えている。なぜそう考えたのかを、客観的に言葉で説明することができるように、評論家になったつもりで発表しよう！など、発表の視点を明確にしていきたい。まとめでは、本時の授業の感想を書かせることで、感じたことを表現する場をつくらうと考えている。

指導目標

作者の人生の流れをもとに、それぞれの作品がどのような時期に、どのような気持ちで描かれたのかを客観的に分析し、並べ替える活動を通して、より深く作品を鑑賞できるようにする。

本時の目標

作者の人生をもとに、作品を客観的に見つめよう。

「学びのつながり」の視点

鑑賞をテーマとして、それぞれの発達段階に応じた内容を考え、美術作品から楽しみながら感じ取り、表現することを目標にしている。Ⅰ期（小1～小4）では、様々な美的対象と出会い、その印象を言葉で表現する（話す・書く）ことを通して鑑賞学習に対する個々の経験値を高め、心の中に浮かぶイメージ（内言）を豊かにすることをめざす。Ⅱ期（小5～中1）では、コミュニケーションを通して互いが感じたことを共有し合ったり、異なる見方や感じ方を知ったりすることで思考の深化を促す。Ⅲ期（中2、中3）では今までの学習活動を活かしつつ、絵画の特徴による分類などの科学的概念と、主観的な見方や感じ方などを結びつけて分析的に美術作品を捉え、自分なりの解釈を導き出す。科学的概念を踏まえた明確な根拠をもとに分析、批評するという学習活動が、より、生徒の表現の幅を広げるのではないかと考えている。

学習の展開

学習活動と内容	指導上の留意点（◆評価）
1. シャガールが残した言葉を見たり、写真または絵を見たりして感じる。 導入（5分）	○アクティブボードの作品を見て、直感的に感じたことを言葉にするように促す。
2. 展開（35分） ☐ シャガールの人生の流れを、彼の言葉と共に知る。 ☐ 数点の異なる時期の作品を見て、どの時期、どのような気持ちで描かれたのかを分析する。	◆興味をもって作品を見ようとしているか。 【美術への関心・意欲・態度】
☐ 絵画のカードをグループごとに配り、ワークシートに記入しながら話し合う。 ・ワークシートの内容 ①時期は？ ②シャガールの気持ちは？ ③なぜそう考えたのか？	○班で話し合いながら、考えをまとめるよう促す。 ○評論家になったつもりで、客観的に作品を見つめるよう促す。
☐ 班の代表が発表する。 ・黒板に貼っているシャガールの年表に合わせて絵のカードを貼る。 ・違う意見の班が発表する。	◆ワークシートに自分の考えや、感じたことを表現することができる。 【鑑賞の能力】
4. まとめ（10分） 授業で感じたことを書く。	○シャガールの作品と生き方について感じたことを言葉で表現することができる。

